

平成 20 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名：株式会社 鉄 人 化 計 画
代 表 者 名：代表取締役社長 日 野 洋 一
(コード番号：2404 東証マザーズ)
問 合 せ 先：常務取締役管理本部長 浦 野 敏 男
電 話 番 号：(03) 5773-9184 (管理本部)

平成 20 年 8 月期 中間業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 10 月 15 日に発表しました平成 20 年 8 月期中間業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。また、当社は、平成 20 年 4 月 14 日開催の取締役会において、1 株当たり配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 中間業績予想の修正

1. 平成 20 年 8 月期中間業績予想数値の修正（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

〔連結〕 中間期業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,497	266	239	20
今回発表予想 (B)	3,558	333	311	15
増減額 (B - A)	61	109	72	△5
増減率	1.8%	25.1%	30.0%	△24.2%
(ご参考：前期実績) 平成 19 年 8 月期中間期	3,404	170	141	31

〔個別〕 中間期業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,020	236	212	20
今回発表予想 (B)	3,073	335	317	33
増減額 (B - A)	53	98	105	13
増減率	1.8%	41.9%	49.6%	58.9%
(ご参考：前期実績) 平成 19 年 8 月期中間期	2,892	163	146	52

2. 修正の理由

(1) 連結業績について

当中間期におきましては、当社グループの主力事業である「カラオケルーム運営事業」において、前々期から出店を開始いたしました「ミニ鉄人システム」を設備した中型店舗の業績が引続き好調に推移したことと、既存店における仕入コストの見直しや効率的なオペレーションの成果により、営業利益が大幅に増加いたしました。
なお、減損損失に対する税効果会計が大きく影響し当期純利益は減少いたしました。

(2) 個別業績について

当中間期におきましては、上記(1)のとおり「カラオケルーム運営事業」の業績が好調に推移いたしました。また、「まんが喫茶(複合カフェ)運営事業」においては、不採算店舗を閉鎖したことにより収益が改善いたしました。

以上の結果、前回発表の中間期業績予想を修正いたします。

3. その他

通期連結業績予想及び通期個別業績予想につきましては、当中間期における業績が全般的に順調に推移しているものの、急速な天然資源・原材料高や円高、株安を背景とした景気の減速傾向への懸念と北京オリンピックによる集客への影響を考慮し、平成19年10月15日に発表いたしました通期連結業績予想及び通期個別業績予想どおりの業績を見込んでおります。

※ 上記の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

II. 配当予想の修正

1. 配当予想修正の理由

当社は、業績に応じた成果配分による、株主の皆様への継続的な利益還元と当社の事業に係わるオリジナルのサービスの開発や新規事業への取組みのための内部留保を勘案した配当政策を実施しております。

このような配当政策により、前述の通期業績予想を勘案し、平成20年8月期の1株当たり期末配当金を750円に増額することを決定いたしました。

なお、当該配当は、平成20年8月期の定時株主総会の決議を経て実施する予定であります。

2. 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成19年10月15日発表)	—	500	500
今回修正予想	—	750	750
前期(平成19年8月期)実績	—	500	500

以上